

平成29年度第2回経営協議会議事要録

日 時 平成29年6月28日（水）10時00分～11時50分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 石田，飯村，五家，齋藤，須賀，角，築，茅野，池田，久保の各委員
陪 席 藤井監事，堀監事，松金学長特別補佐，
塚本地域デザイン科学部長，佐々木国際学部長，阿山工学研究科長

議事に先立ち，平成29年度第1回（H29.4.19）宇都宮大学経営協議会議事要録（案）を確認し，原案のとおり承認した。

[議 題]

- 1. 役員の給与について（案）** 資料1
学長から，資料1に基づき，役員の給与について（案）の提案理由及び内容等について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。
- 2. 平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について** 資料2
企画広報課長から，資料2に基づき，平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり，審議の結果，提出までに原案の一部修正を行う必要が生じた際には学長に一任することとし，原案のとおり承認した。
- 3. 教職大学院認証評価自己評価書（案）について** 資料3
企画広報課長から，資料3に基づき，教職大学院認証評価自己評価書（案）について説明があり，審議の結果，提出までに原案の一部修正を行う必要が生じた際には学長に一任することとし，原案のとおり承認した。
- 4. 労働契約法改正に伴う非常勤職員就業規則及び関係規程等の一部改正等について（案）** 資料4
総務課長から，資料4に基づき，労働契約法改正に伴う非常勤職員就業規則及び関係規程等の一部改正等（案）について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。
- 5. 平成28年度決算（案）について** 資料5
財務課長から，資料5に基づき，平成28年度決算（案）について説明があり，審議の結果，原案のとおり承認した。
なお，学長及び堀監事から監事及び会計監査人の監査報告書について補足説明があった。（主な意見等）
 - ・運営費交付金が毎年逡減傾向にあり大学運営に影響があると言われているが，運営費交付金交付額推移表を見る限り基幹運営費交付金は増加しているので，特に問題はないように思われるが如何。
（運営費交付金の総額は，57億（H23）から56億（H28）に減額となっており，第三期より機能強化経費の基幹運営費交付金への組み替え等があったことにより，基幹運営費交付金が維持されているように見えている。なお，人事院勧告や法定福利費に伴う増額要因についても追加予算措置がないほか，毎年，機能強化促進係数（ $\Delta 0.9\%$ ）により基幹

運営費交付金は減額されることとなっている。)

(本学監事：昨年まで、後日ファイナンシャルレポートにおいて財務状況を分析していた資料の一部を前倒しで作成の上、本日の説明資料として活用したことは、非常に見える化されて良いことである。)

6. 平成30年度概算要求(案)について

資料6

財務課長、施設課長及び茅野理事から、資料6に基づき、平成30年度概算要求(案)について説明があり、審議の結果、機能強化促進分及び組織整備等については、今後、文部科学省への事前相談を踏まえて学長に一任することとし、原案のとおり承認した。

(主な意見等)

- ・宇大未来塾については、一般の方が対象となるので、講師の選定等、様々なことを想定したリスク管理が必要と考える。

[報告事項]

1. 平成28年度監事監査意見(報告)書について

資料7

藤井監事及び堀監事から、資料7に基づき、平成28年度監事監査意見(報告)書の概要について報告があった。

(主な意見等)

- ・概算要求における新規事項の構想及び新大学院構想等に係る取り組みは非常に重要だと感じており共感している。このような本学の姿勢を、県内・県外も含めて積極的に知らしめていただきたい。なお、これらの実現に必要な教員を採用する仕組みを構築し、期待される多様な教員(情報社会、スマート社会などの新しい分野の研究者)の獲得について、早期に取り組んでいただきたい。また、新しいテクノロジーの利用方法、開拓可能性のある人材の育成、グローバル化或いは探求心など様々なことが求められているので、地元の高校と積極的に接触し、それに相応しい学生を養成してもらうことをどんどん発信していく必要があるのではないか。

(教員の確保については、現在25%助教を一つのターゲット指標としながら若手教員を増やしていく取り組みを実施している。これについては、文部科学省の事業的なサポートを活用しながら、それぞれの学部でも検討の上、若手の助教を増やす取り組みを実施している。また、高大連携については、今年度より副学長(アドミッション担当)を任命し、入試と教育とを連携しながら、それをどう広報に繋げて行くかを精力的に取り組んでいる。いただいたご意見を参考にしながら頑張っていきたいと考えている。)

- ・本学のガバナンスと大学運営体制において、「大学附属の教育研究施設については、実情と課題の客観的分析が進まないまま、組織の独立性のみが尊重されて、改革が進まないという問題が指摘できる。」とあるが、是非とも、学長のリーダーシップを発揮して、教育研究施設におけるイノベーションの創出について、全力で取り組んでいただきたい。

2. 平成29年度宇都宮大学監事監査計画について

資料8

藤井監事から、資料8に基づき、平成29年度宇都宮大学監事監査計画の概要について報告があった。

3. 第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について 資料9
茅野理事から、資料9に基づき、第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果の概要について報告があった。
4. アクションプラン2016 2016年度成果報告書について 資料10
学長から、資料10に基づき、アクションプラン2016 2016年度成果報告書について報告があった。
5. 大学院改革について 資料11
茅野理事から、資料11に基づき、大学院改革について報告があった。
6. 学生数及び外国人留学生数（平成29年5月1日現在）について 資料12
茅野理事から、資料12に基づき、学生数及び外国人留学生数（平成29年5月1日現在）について報告があった。
7. 平成28年度大学卒業・大学院修了者の就職等進路状況について 資料13
茅野理事から、資料13に基づき、平成28年度大学卒業・大学院修了者の就職等進路状況について報告があった。
8. 平成28年度資金運用状況について 資料14
経理課長から、資料14に基づき、平成28年度資金運用状況について報告があった。
9. 工学部改組について 資料15
工学部長から、資料15に基づき、工学部改組について報告があった。
10. その他
学長から、参考資料に基づき、平成29年4月から6月における本学関係記事について紹介があった。
次回の経営協議会は、10月25日（金）10時から開催予定である旨の案内があった。

以上